

2017年度 事業報告書

2017年 4 月 1 日から 2018 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人コスファCOSFA

1 事業の成果

各事業体の円滑な事業運営と同時に、「ちいきのまちづくり拠点」「情報発信のチャレンジスペース」としてCOS下北沢の運営を行った。新しい参入団体を迎え、開業当初の振り返り、ミッションの共有を行い、各事業者間の協力体制が強まった。

2 事業の実施に関する事項

① 地域に開かれた拠点としての見学、視察は毎年特徴がある。2017年度は、主として世田谷トラストまちづくりの照会で、韓国からの見学が3件あった。テレビ同行もあったり、25名、50名と大人数だった。韓国の地域のまちづくりに対する関心の高まりを感じたが、もっと明確にCOS下北沢・NPO法人コスファの組織・運営の理解を補助する資料の必要性も指摘された。国土交通省国土交通政策研究所の見学もあり（空き家の活用と地域交流について研究）、COS下北沢の取組みの魅力を当事者として、再確認した。

② COS下北沢見学・視察時の補足資料がトラストまちづくりの協力・支援で、PPTにまとめることになった。トラストまちづくり事業「地域共生のいえ」登録団体として、外部の視点に応え、理解を深めるよう今後も心がける。

③ 参加団体・まちづくり広場メンバーがCOS下北沢の機能・機器を使って、世田谷区の住民主体型「地域デイサービス事業」の事務局を担った。今後もCOS下北沢の持つ機能を活用する団体があれば、検討し、支援していく。

④ 「おでかけひろば」「出張ひろば」やその他子育て関連団体の継続利用は実現しなかった。各団体の発信能力他課題はあるが、COS下北沢自体の認知度を高める発信機能も弱い。恒例のこすきた祭りでも防災をポイントに充実した企画だったが近隣の参加が少なく残念だった。「こすきた通信」発行の他、ホームページ等SNSの有効活用が、広報担当者の若返りをはじめ、NPO法人コスファの当面の課題である。

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
コーディネート事業	「COS（コーポラティブスペース）下北沢」の円滑な運営と管理	4月～3月	北沢2丁目他	10名	COS下北沢事業団体50名程度	6847
相談事業	地域を豊かで暮らしやすいまちにするため多様な活動や働く場を分かち合う協働スペース「コーポラティブスペース」の創出相談対応体制の準備	4月～3月	北沢2丁目他	3名～4名	世田谷区 その他の市民 他 150名程度 (主に見学対応)	0
地域住民交流事業	イベントの実施、日常的な居場所として	4月～3月	北沢2丁目他	10名程度	世田谷区内外 延300名程度	125
まちづくりを推進するための情報提供事業	広報誌の発行 関連集会参加・発表 ホームページの充実	年1回発行 年3回 随時	北沢2丁目他	3名程度	世田谷区内外 1000部 不特定多数	27
調査研究事業	アンケート ⇒調査研究協力	10月～12月	世田谷区	2名	0件	0